

〔半紙4年生〕

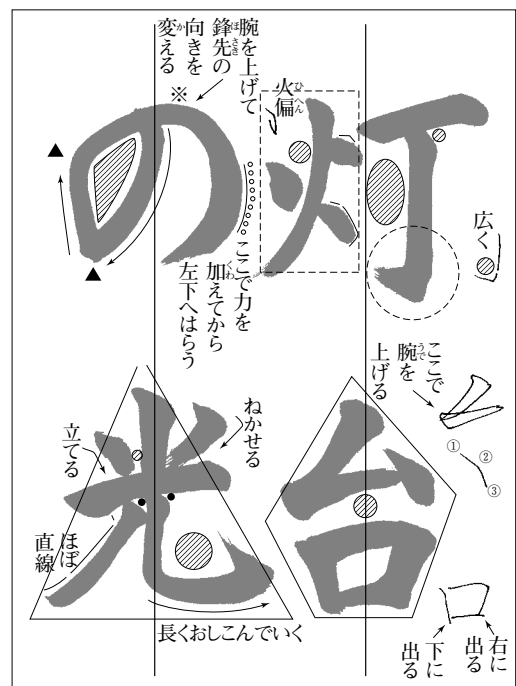
灯台の光

小久保嶺石先生書

教室
の灯
名前
光台

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。ていねいに書きましょう。

てほん
手本のならいかた



▲止めて方向を変える ◎あきさに注意

4年生 ここに注意

ねらい

★半紙四字書き課題。

★余白やはねの向きに注意してまとめる。

学習のポイント

灯：三つの点の打ち方がいを学ぼう。二・四

画めは隣の「丁」のスペースに入りこまな

いように短くとめます。

台：一画めの左へ向かう線、右へ向かう線はど

ちらもはらうような気持ちで書くと余白がキ

リツとします。

の：二ヶ所の▲印で筆をとめてから方向を変えま

す。さらに※印でもスピードを落として、腕

を上げて方向を変えます。

光：二画めは立てて三画めは、ねかせるように

はらう。五・六画めの起筆も横画から離すよ

うにして、中心部をスッキリ見せよう。

〔半紙5年生〕

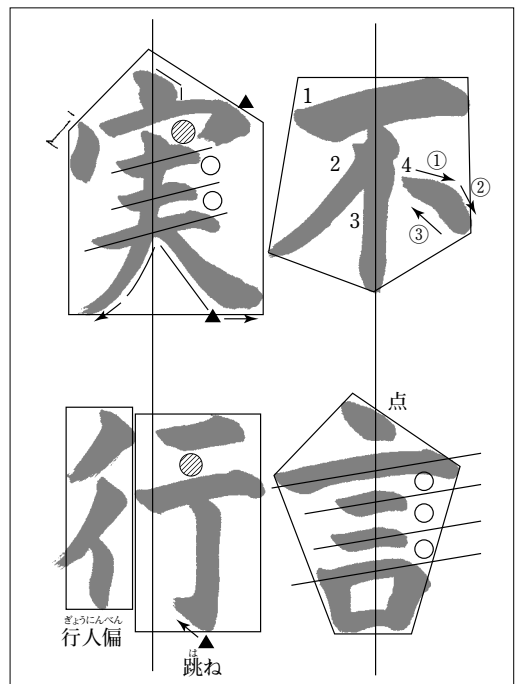
不
言
実
行

小久保嶺石先生書

教室
不
実
名
前
行
言

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。ていねいに書きましょう。

てほん
手本のならいかた



▲止めて方向を変える ○あさに注意 ○広さに注目

ねらい

★漢字四字を半紙にバランスよく収める。

★余白に注意してまとめる。

学習のポイント

不…一画めは力強く。二画めは左へ伸びやかに。

四画めは①②③の運筆のリズムで書くように。

言…横画の角度や長さに注意しよう。横画の間隔は均等にする。

実…「宀」(うかんむり)はゆったりと書き、「実」の字がしっかりと入るように入るとまとめる。こちらも横画の間隔は均等に。

行…「彳」(行人偏)はやや細身に書き、旁はゆったりと広めに入るとバランスがよいでしょう。

言…「言」(言字旁)はやや細身に書き、旁はゆったりと広めに入るとバランスがよいでしょう。

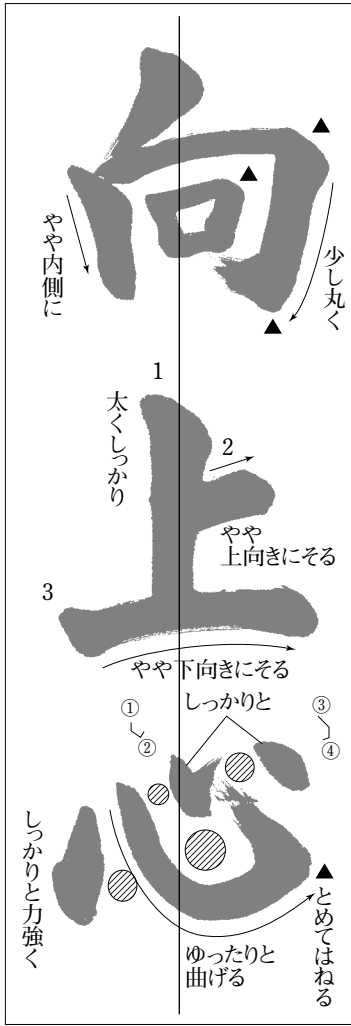
〔条幅 4年生〕

向上心



小久保嶺石先生書

てほん
手本のなにかた



▲止めて方向を変える
◎あきにご注意

ここに注意 4年生

ねらい

★中心に気をつけよう。

★基本の筆使いの練習。

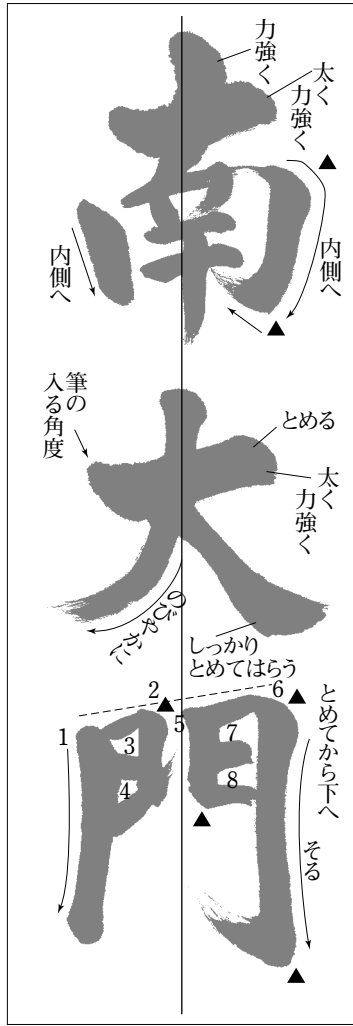
向：二画めはしっかり、やや内側に、三画めは、しっかりととめてから内側にやや曲がりを入れて引く。

上：たて画は太く力強く、二画めは短く上にそり、三画めは長くのびやかにやや下にそる。

心：一画めはしっかり太く、二画めは大きくゆったり曲げる。三・四画めの点は力強く、「①」「②」「③」「④」の運筆のリズムで書くとよい。

※書く前にじっくりと手本を見ましょう。
※条幅の作品は、墨を大事に使い、起筆、送筆、収筆のリズミカルな表現が大切です。体全体を使って、書き順を覚えて、のびのびと書きましょう。
※線の太い細いや、字の大きさなど、全体の流れに気を付けて書きましょう。

てほん
手本のなにかた



▲止めて方向を変える

〔^{じょう}条幅^{ふく}5年生〕

南^{なん}
大^{だい}
門^{もん}



こく
久保嶺石先生書

ここに注意 5年生

ねらい

- ★中心に気をつけよう。
- ★基本^{きほん}の筆使いの練習。
- ★作品づくりをめざして全体の流れやまとまりを考えましょう。

南：一・二画めは太めに力強く筆を入れ、三・四画めは内側へまとめる。

大：二画めの左はらいはのびやかに、三画めの右はらいは力強く止めてから右へはらう。

門：横に広がりすぎないように。六画めのたて画はそるよ
うにのびやかに引く。

※書く前にじっくりと手本を見ましょう。
※条幅^{じょうふく}の作品は、墨を大事に使い、起筆^{きひつ}、送筆^{そうひつ}、収筆^{しゅうひつ}のリズミカルな表現^{ひょうげん}が大切です。体全体を使って、書き順^{かきじゆん}を覚えて、のびのびと書きましょう。
※線^{せん}の太い細いや、字の大きさなど、全体の流れ^{なご}に気を付けて書きましょう。

〔硬筆 4年生〕

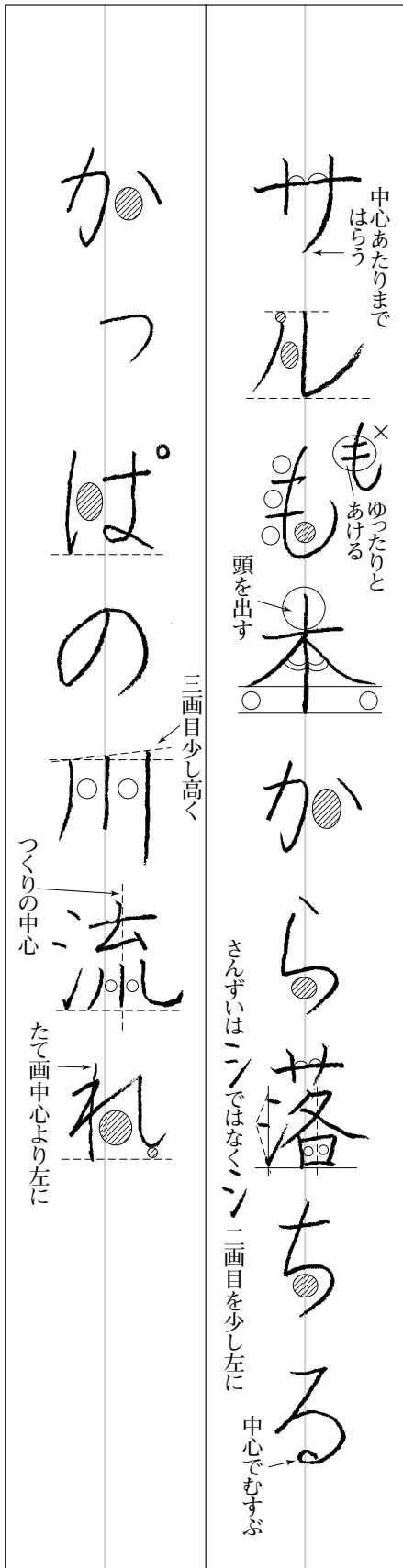
サルも木から落ちる かつばの川流れ

倉島須美子先生書



☆書く前によく手本を観察しましょう。 ☆筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
 ☆名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。

てほん 手本のなにかた



○同じ広さ

●あきにご注意

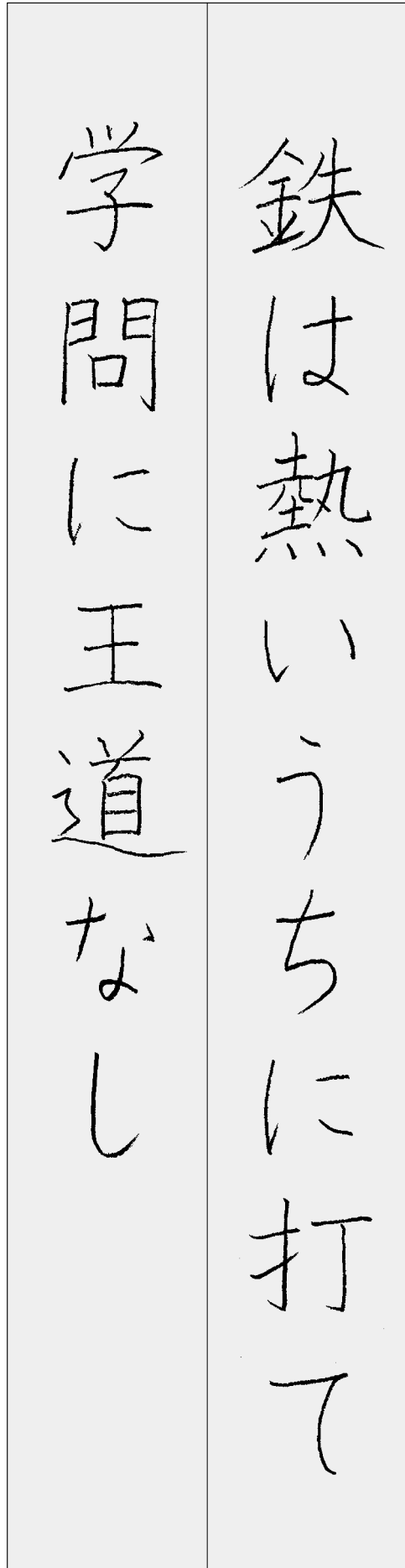
※算用数字は筆順の一部を示しています。
 ※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

小学校の硬筆は鉛筆が中心ですからなるべく鉛筆で書くようにしましょう。

〔硬筆 5年生〕

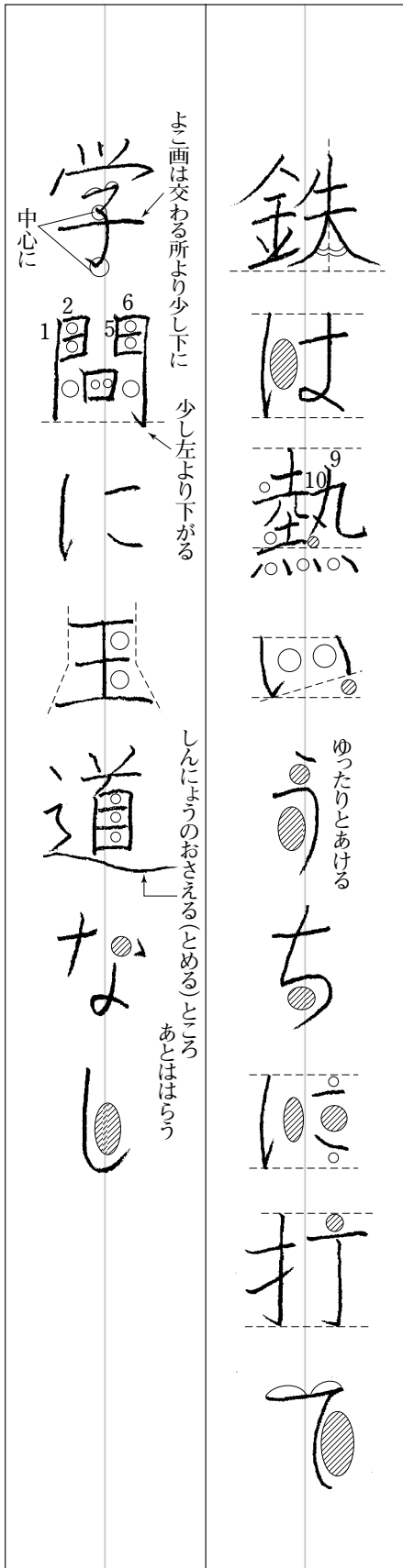
鉄は熱いうちに打て 学問に王道なし

倉島須美子先生書



☆書く前によく手本を観察しましょう。 ☆筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
 ☆名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。

てほん 手本のならいかた



○同じ広さ ●あきにご注意

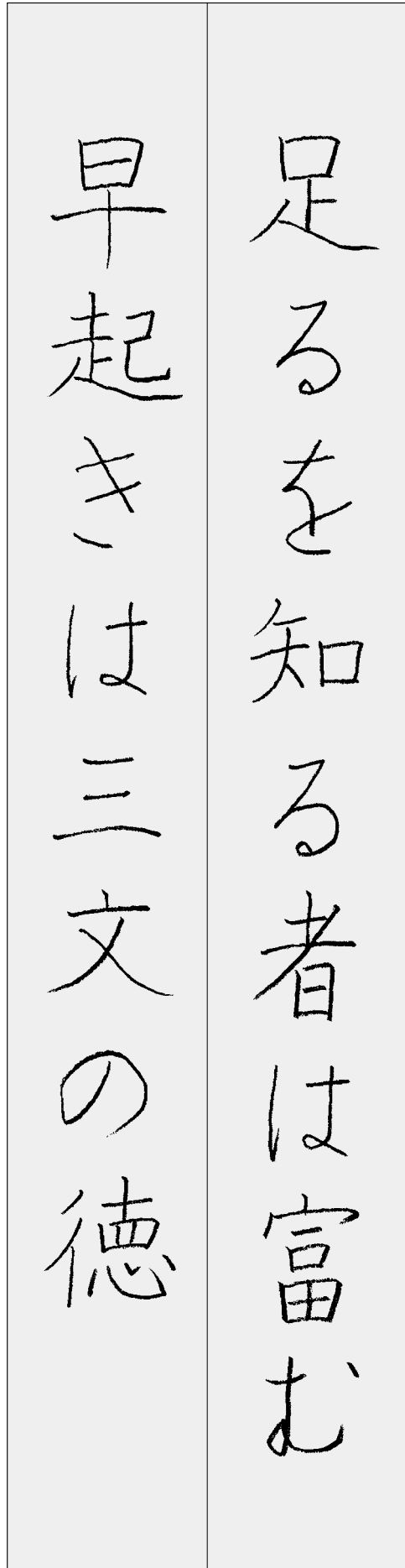
※算用数字は筆順の一部を示しています。
 ※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

小学校の硬筆は鉛筆が中心ですからなるべく鉛筆で書くようにしましょう。

〔硬筆 6年生〕

足るを知る者は富む 早起きは三文の徳

倉島須美子先生書



☆書く前によく手本を観察しましょう。 ☆筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
 ☆名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。

てほん 手本のならいかた

<p>上のあきより少し広い</p> <p>同じあき</p> <p>早起</p> <p>同じあき</p> <p>×</p> <p>この位置に気をつける</p> <p>○ 同じ広さ</p> <p>● あきに注意</p> <p>※算用数字は筆順の一部を示しています。</p> <p>※中心の線は下じきに入れて書きましょう。</p>	<p>4 5</p> <p>足</p> <p>中心でむすぶ</p> <p>中心で交さし</p> <p>中心で止める</p> <p>4 5</p> <p>る</p> <p>を</p> <p>知</p> <p>る</p> <p>者</p> <p>は</p> <p>富</p> <p>む</p> <p>ハネルとき少しあげる</p>	<p>↑</p> <p>そうじょうの方が少し長くなる</p> <p>4 5</p> <p>起</p> <p>き</p> <p>は</p> <p>三</p> <p>文</p> <p>の</p> <p>徳</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>つくりの中心</p>
--	--	--

小学校の硬筆は鉛筆が中心ですからなるべく鉛筆で書くようにしましょう。